

岩崎亮也歯科医師がチームに参加

月に数回難易度の高い手術を担当

科学的で先端的な歯科医療を提供

新市和田歯科医院（福山市新市町新市695-2、電話0847・52・6480）の和田勝院長をはじめとする「専門家チーム」にこのほど、岩崎亮也歯科医師（41）＝写真＝が加わった。

高度先進インプラント治療を駆使し、月に数回、難易度の高い手術を担当する。

岩崎歯科医師は2011年に国立大阪大学歯学部を卒業後、大阪府内の歯科医院に勤務。昨年6月から、

一例では、上あごの歯の上に上顎洞（じょうがくどう）という空洞があり、抜歯後薄くなつた部位にイン

長に就任した。厚生労働省指定臨床研修指導医。最新の科学的根拠を基にした医療（EBM）を心掛け、常に最新の論文を読むのが趣味という勉強家であり、固定観念の枠を外して、常にEBMの見地から患者の治癒に相応しい治療法を選択している。



プラントを埋め込む場合は、骨補填材（人工骨）を移植する「サイナスリフト」手術が一般的だが、「グラフト」という骨補填を行わない最先端の治療法を行うという。これは、特殊な器具によつて上顎洞へ自家骨（削った骨）を押し込めてドーム状にする手術法で、同洞内の「シユナイダーモール」を傷つけずには侵襲・短期間で手術を終えることができる。岩崎歯科医師は早くから学んでおり、得意としているが、和田院長も2年前から同手術のための機器類を揃えて治療を行ってきた。

同院にはそうした最先端の医療機器が揃つており、先進医療のサービスが受けられることがあるとから、全国からの医療依頼が増えてきているという。その二、三に応えるために、和田院長は優秀な歯科医師を招へいし、自らの医療技術の底上げも図っている。岩崎ドクターは「和田院長は大ベテランでありながら、常に最新の歯科治療について熱

で開かれる勉強会にも通われています。その、院長の変わらぬ探求心と治療技術の研鑽を続けるプロ意識に敬意を示すとともに、院の運営や、ベテランならではの知識の深さを学ばせていただきたい」と話し、高い意識と技術を持つ他の歯科医師たちとの研究サロンに加わることを楽しみにしている。

経営者モーニングセミナー 3／10ハ天堂の森光社長

福山市倫理法人会（福山

市城見町2-1明正ビル2階、梅西大輔会長、電話08

4・973・6533）は3月10日（火）午前6時から、福山ニューキャッスルホテル2階で経営者モーニングセミナーを行う。福山商工会議所後援。聴講及び

字回復を果たした成功の方など語る。「やり方」ではなく「あり方」など、2000年代初頭に陥った経営危機からV字回復を果たした成功の秘訣などを語る。申込みは下記QRコードから。

